

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	江戸川区葛西児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和8年2月5日		～ 令和8年2月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	115人	(回答者数) 62人
○従業者評価実施期間	令和8年2月17日		～ 令和8年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他職種連携での集団療育	保育士や児童指導員とともに、作業療法士や理学療法士がクラスに入り多角的な視点から、個々のお子に対してのニーズや課題を客観的に分析した上で、支援を行っている。	引き続き他職種連携でのチームアプローチを継続していくとともに、研修や勉強会を通じて職員全体の底上げを図っていく。
2	集団療育と個別訓練を組み合わせた支援	集団療育と並行して専門職が、個々の課題に合わせて作業・言語・理学療法を行っている。	集団療育を通じてお子様の変化やご成長と個別訓練で得た効果の情報共有を図ることにより、質の高い支援を目指していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか。	クラス内で日々の振り返りや、改善点を話し合っているが全体への詳細の周知までには至っていない。	今後はクラス間ミーティングや、クラス間ミーティングを定期的に行い、広く職員が参画できる時間を確保していく。
2	質の向上を図るため、積極的に職員を外部研修等に参加させているか。	積極的な外部研修への参加までには至っていない。	運営法人が近隣に多数事業所を構えているため、今後は職員を同法人内の事業所へ研修に派遣して、個々のスキルアップを図り療育の質の向上に努める。
3	利用定員やお子様の状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	定員に対しては適切な人員配置だが、時間帯によっては加配が必要と感じる時がある。	職員の休憩時間等、時間帯によって人員に偏りが出ることがあるため、前日にクラス間ミーティングを行い、人員配置の調整を行ってまいります。